



まつもと じゅん

松本純

中区・磯子区・金沢区
まちかど
政治瓦版



令和2年10月1日号
発行
かながわ
1区支部
発行責任者
平木 茂

10月号
2020年
No.214

松本純ホームページ 毎日更新中! <https://jun.or.jp/> ▶ 検索キーワード「松本純」

菅新総理を支えます!

菅新政権誕生

国会対策委員長代理(留任)として国会運営に尽力します

8月28日、安倍総理が辞意表明をされました。持病の悪化が原因ということで任期途中の辞任となりましたが、歴代最長の総理として歴史に名前を遺すことになりました。

松本純としても、2012年の総裁選以降、長きにわたり麻生副総理とともに安倍総理を支え、安倍第2次改造内閣において、2016年8月3日から2017年8月3日まで、国家公安委員長・国務大臣(防災等)として、安倍総理に仕えることができたことを光栄に思います。

そして、9月16日には、菅義偉氏が第99代内閣総理大臣に任命され、新内閣が発足しました。今回の菅新内閣ですが、安倍政権の継続を前提とした改革内閣であり、コロナ対策を重要課題としたうえで、行政改革を目標とした内閣になります。

麻生会長は財務大臣兼副総理として再任され、志公会からは河野太郎氏は目玉戦略の行政改革・規制改革担当大臣に、井上信治氏が万博・科学技術担当大臣に任命されました。

また、党役員として、佐藤勉氏が総務会長、甘利明氏が税制調査会長(留任)、牧島かれん氏が青年局長に任命されました。

そして、自民党神奈川県連からは、菅義偉新総理を筆頭に、小泉進次郎氏が環境大臣(再任)、小此木八郎国家公安委員長に任命されました。

尚、松本純は、国会対策委員長代理(留任)として、今後とも健全な国会運営を支えることで、菅総理を支えてゆきます。新型コロナや国際間の緊張など難しい局面が続きますが、全力で取り組んで参ります。



菅新総理とは、同じ横浜市会議員出身、選挙区も隣り合う等、お互いに協力し合ってきました



菅義偉新内閣の顔ぶれ(写真提供:自民党本部写真室)

いま地域で
(人・まち・出来事)

「歴史」は「今」を動かします

横浜市八聖殿(はっせいでん)郷土資料館館長 相澤竜次さん(中区)



法隆寺夢殿を模した八聖殿と相澤館長

本牧臨海公園(中区本牧元町)の一角に「八聖殿郷土資料館」があります。昭和8年、横浜港をめざす外国船が一望できる岬の高台に、突如、法隆寺の夢殿を模した三層楼八角形の威容をもつ建物が誕生し人々を驚かせました。建てたのは大正時代から昭和初期に、逋信・内務大臣を歴任した熊本県出身の政治家・安達謙蔵。ここを日本人の「心の国際化」の拠点にしようと、キリスト・ソクラテス・孔子・釈迦・聖徳太子・空海・親鸞・日蓮を祀る廟「八聖殿」としました。その「志」を受け継いだ横浜市は、昭和48年、「横浜市八聖殿郷土資料館」としてこの建物を甦らせました。幕末から明治の本牧、根岸地区の写真や、漁村の面影を伝える舟や漁具、伝承行事などの民俗資料を展示し、展示物を活かした地域の小・中学校の体験学習や、地域の人々への歴史講座などを開催する「地域史の拠点」としました。相澤竜次さん(55歳)は、横浜市歴史博物館の総務部に勤務していた頃、「八聖殿」の歴史的意義と、広く知られていない実情を知り「これはもったいない」と館長就任を希望。平成24年当時約6000名の年間利用者を、平成30年度には約16700名に更新しました。「歴史は今も地域の生活に根づいています。八聖殿を知ってもらい本牧・根岸をもっと元気にしていきたいですね」と笑顔で語っていただきました。

[2020年9月]

松本議員の活動記録

- 1日●自由民主党社会保険労務士議員懇談会総会
●志公会緊急総会
- 2日●【総裁選2020】三派合同記者会見(清和政策研究会・平成研究会・志公会)
- 4日●日本薬業政治連盟面談
●【総裁選2020】第1回菅選対本部役員幹部会
- 5日●【総裁選2020】純政会
- 8日●【総裁選2020】菅義偉選挙対策本部「出陣式」
- 14日●【総裁選2020】党大会に代わる両院議員総会

- 16日●第202回臨時国会応召手続き
●国会対策正副委員長打合せ
●国会対策委員会
●議院運営委員会与党理事懇談会
●立憲民主党新役員挨拶
●国民民主党新役員挨拶
●本会議(首班指名)
●新旧総理挨拶回り
- 17日●第202回臨時国会開会式



9/4 日本薬業政治連盟面談●日本薬業政治連盟鹿目広行会長、牛之濱貴正理事・事務局長から、毎年薬価調査についての説明並びに新型コロナウイルスワクチンの優先接種の要請を受けました。



9/5 純政会
●自民党神奈川一区の中区、磯子区、金沢区の県会議員、市会議員の先生方で構成される純政会が開かれ、松本純代議士から安倍晋三総理の辞任表明などがはなされました。



9/14 東京都不動産のれん会創立60周年記念祝賀会パーティー●代表の品田守敏氏は「厳しい時代だが、のれん会会員の實力と質は高い。力を合わせ80周年、100周年を迎えたい」と挨拶されました。



9/14 神奈川県薬剤師連盟と遠山きよこ代議士懇談会●遠山きよこ財務副大臣・衆議院議員をお招きし川田哲神奈川県薬剤師連盟会長の進行で薬剤師、薬剤師会について意見交換がなされました。

永田町日記

松本純、TV取材で、志公会「菅氏支持」決定を語る

9月15日放映 NHKの『クローズアップ現代/自民党総裁選の舞台裏～各派閥はどう動いたのか～』に、志公会事務局長としてインタビュー出演をいたしました。

今回の総裁選ですが、改めて派閥がクローズアップされ大きく報じられました。そして、その決定が総裁選挙に大きな影響を与えたわけです。誤解されがちですが、派閥は単なる集団ではなく、「政策集団」であり、派閥により異なる政治色があり、異なる政策方針を掲げています。

総裁選挙というのは、どのような政策を選ぶかの選挙であり、選挙である以上、数を集めることが大切になるわけです。今回の総裁選の最大の争点は、安倍政権に対する評価であり、政策の継続を問う選挙でもあったといえるでしょう。松本は麻生会長の菅氏支持決定までのプロセスについて、インタビューに答えました。

